

伊達

DATE

[だて市政だより]
別冊特集 令和3年度予算

5月号 April 2021
2021年4月22日発行
(毎月第4水曜日発行)

令和3年度 伊達市事業説明書

－ 知ってください今年の取り組み －



伊達市



令和3年度 伊達市事業説明書の発刊にあたって

伊達市長 須田博行

令和3年度当初予算の編成にあたっては、最大の課題である人口減少と少子高齢化に対応し、若者から高齢者まで全ての市民が住んで良かったと思えるまち、活力ある持続可能な伊達市の実現に向けた取り組みを進める予算編成を行いました。

一つ目は、「農林業・商工業・観光のまち」として、企業や商業施設の誘致、商店街活性化や新規就農支援などにより働く場を確保するとともに、相馬福島道路の全線開通に伴う地域資源を生かした交流人口の拡大を図ってまいります。

二つ目は、「子育て・教育のまち」として、伊達市版ネウボラ事業や、認定こども園の整備など子育て支援の充実、小中学校の改築やICTを活用した学習活動の支援など、教育環境の充実を図ってまいります。

三つ目は、「健幸・福祉のまち」として、健幸拠点施設の整備や、運動習慣化および予防重視型健康づくりへの支援など、健幸都市施策の推進をしてまいります。

四つ目は、「移住・定住の促進」として、ミッション型地域おこし支援員や移住相談コンシェルジュの配置、シティプロモーションの推進など、若い世代の移住・定住を促進してまいります。

五つ目は、「防災・減災・感染症対策の推進」として、防災マップの改定、工業団地や^{たんすい}湛水防除施設の浸水対策、農林業施設の災害復旧など早期の施設復旧と防災対策を実施し、災害防止に努めてまいります。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策として発熱外来の設置を継続するとともに、市民への円滑なワクチン接種、事業者支援などに取り組んでまいります。

これらの事業を展開し、市民の皆さまとともに、「未来創生～未来輝くまちづくり～」に向けた取り組みを推進してまいりますので、よろしく申し上げます。

令和3年4月

第2次総合計画のあらまし	3
令和3年度 伊達市行政経営方針	3
令和3年度 予算のポイント・予算規模	4
令和3年度の主な取り組み	
■ 農林業・商工業・観光のまち	6
■ 子育て・教育のまち	8
■ 健幸・福祉のまち	10
■ 移住・定住の促進	12
■ 防災・減災事業・感染症対策の推進	14
■ その他の主要事業	16

第2次総合計画のあらまし

【計画期間：平成27年度～令和4年度】

この計画は本市の目指すべき将来像を描き、それを実現していくための総合的かつ計画的なまちづくりの指針となるものであり、最上位の行政計画に位置づけられています。

この計画を実行していくことで、「誇れるまち・選ばれるまち・選ばれ続けるまち」として着実な再生・発展を遂げ、次代を担う子どもたちに、誇りと自信をもって継承することができる伊達市を目指します。

－ わたしたちで実現を目指す伊達市の 将来都市像 － 健幸と個性が創る 活力と希望あふれる故郷 伊達市

政策 ① ともに紡ぐ協働のまちづくり

政策 ② 豊かな心を育むまちづくり

政策 ③ 地域の魅力が輝くまちづくり

政策 ④ 心寄り添う健やかなまちづくり

政策 ⑤ 自然と調和し快適で住みよいまちづくり

令和3年度 伊達市行政経営方針

令和3年度は、「求められる施策の推進」と「持続可能な行政経営」を2つの柱として施策の展開を図っていきます。「求められる施策の推進」では、新型コロナウイルス感染症の影響により、改めて「地方」が注目される中、相馬福島道路の全線開通により新たな「ひと・もの」の流れが見込まれており、今がまさに市政の「転換点」であるという意識をもって、新しい時代の流れを活かすとともに、社会情勢の変化に的確に対応する新たな事業展開を図ることで、第2次総合計画の重点課題の解決および第2期伊達な地域創生戦略の目標達成に効果が高い事業を推進していきます。

また、「持続可能な行政運営」では、組織規模の適正化、事務事業の見直し、公共施設等の適正化および、歳入確保の強化など、新しい時代に柔軟に対応した持続的な自治体経営を確保していきます。



令和3年度 予算のポイント・予算規模

令和3年度は、「未来創生」と題し、未来に輝くまちづくりを進める年と位置付けました。

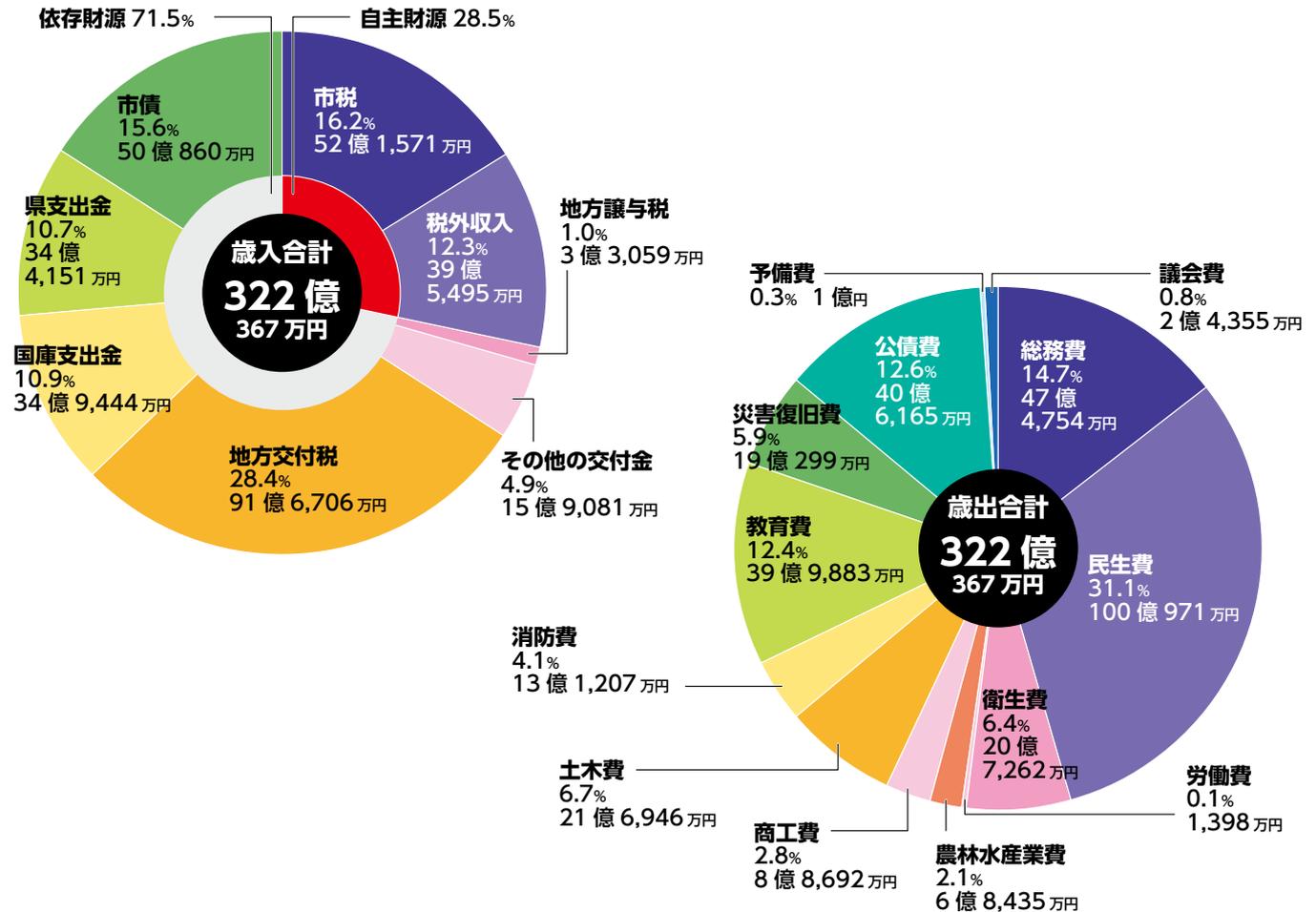
未来創生に向け、「農林業・商工業・観光のまち」「子育て・教育のまち」「健幸・福祉のまち」「移住・定住」「防災・減災・感染症対策」の5つを柱として重点的に施策展開を図ります。



令和3年度に行う事業の予算規模

令和3年度の予算規模は、前年度比 1.58%、5億 1,837 万円減の 322 億 367 万円となりました。予算編成にあたっては、合併算定替の終了により普通交付税が縮減するなど、厳しい予算編成となりましたが、そうした中であっても、すべての事務事業の検証と見直しを行いながら、未来につながる各事業に重点を置いた予算編成を行ったところです。

令和3年度の総予算グラフ



令和3年度予算の概要

(単位：千円)

会計名称		予算額	前年度比
一般会計		32,203,673	△ 1.58%
特別会計	国民健康保険特別会計	6,462,000	0.10%
	後期高齢者医療特別会計	858,060	△ 2.44%
	介護保険特別会計	7,791,899	3.89%
	栗野地区農業集落排水処理事業特別会計	14,452	1.06%
	工業団地特別会計	839,370	434.57%
	月館宅地造成事業特別会計	21,697	△ 2.20%
	財産区特別会計 (12 会計)	15,856	△ 15.96%
水道事業会計 (公営企業会計)	収益的支出	1,792,848	2.77%
	資本的支出	667,555	△ 21.57%
下水道事業会計 (公営企業会計)	収益的支出	696,373	△ 16.20%
	資本的支出	779,897	△ 3.31%

農林業・商工業・観光のまち



新 就農支援事業

担当課 農政課 **4,485万円**

新規就農者、農業担い手の確保と定着のため、就農初期などを支援し、安定的な展開できるよう、意欲と経営能力のある農業担い手を育成します。

【主な取り組み】

- 本市独自に農業機械導入や農地賃借料補助、就農支援金交付
- 45歳以上の新規就農者の支援拡充（伊達市版農業次世代人材投資資金150万）
- 国の農業次世代人材投資資金（開始型）



伊達男「アグリ系」（地域農業を担う若者達）

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1,860	2,625

継続 6次産業化推進事業

担当課 農政課 **300万円**

市の豊かな農産物を活用した新たな付加価値を生み出す6次産業化を推進します。

【主な取り組み】

- 6次化商品の加工・販売に係る費用の補助



6次化商品「mofet」

財源（万円）	市の負担
	300

継続 森林資源を生かした生業づくり事業

担当課 農林整備課 **1,515万円**

林業の担い手の増加により、中山間地域での雇用を創出し、森林資源の活用を図ります。

本市に豊富に存在する森林資源を適切に管理しながら、林業経営の集積集約を通して、林業の低コスト化と担い手の増加を図ります。

【主な取り組み】

- 高度な専門知識を有する(仮称)森林プランナーを活用し、地域に沿った林業整備計画を策定
- 林業専用の地域づくり支援員を活用し、林業の担い手として育成
- 森林経営管理法に基づく意向調査

財源（万円）	市の負担
	1,515

新規 土地区画整理事業支援業務(大型商業施設誘致促進事業)

担当課 都市整備課 **2億円**

伊達市都市計画マスタープランに基づき、東北中央自動車道伊達桑折IC周辺に新たな都市機能を誘導するため、広域交流拠点となる多機能型複合商業施設の誘致を前提とした土地区画整理事業を実施する伊達市堂ノ内地区土地区画整理組合に対して、技術的および財政的支援を実施します。

【主な取り組み】

- 伊達市堂ノ内地区土地区画整理組合が実施する土地区画整理事業に対して、国県道等の改良工事に係る事業費の一部を補助
- 土地区画整理組合に対して、土地区画整理法第75条による技術的援助



大型商業施設イメージ図

財源（円）	市の負担
	2億

企業誘致や商店街の活性化、新規就農支援など働く場の確保、相馬福島道路の全線開通に伴う地域資源を生かした交流人口の拡大を図ります。

新 企業誘致推進事業

担当課 商工観光課 **4億3,372万円**

産業振興や雇用拡大を図るため、新工業団地の整備を行うとともに、新規立地に向けた企業誘致活動を行います。

【主な取り組み】

- 新規立地や一定の投資に伴い伊達市民を新規雇用した場合に1雇用者あたり50万円を3年間交付
- 伊達市企業立地セミナーを開催
- 工業団地特別会計へ繰出し、新工業団地の整備を実施



新工業団地の位置図

財源 (万円)	市の負担	その他 (土地貸付収入)
	4億3,366	6

新規 月舘地域交流推進事業

担当課 月舘総合支所 **2,454万円**

地域のシンボルとして重要な役割を担ってきた小手小学校を、つきだて花工房と連携した中山間地域における市民の新たな交流拠点として整備します。

【主な取り組み】

- 小手小学校を活用するためのリノベーション工事に係る基本設計および実施設計

財源 (万円)	市の負担
	2,454

継続 霊山高原構想推進事業 (霊山こどもの村リニューアル事業)

担当課 霊山総合支所 **2億5,000万円**

霊山こどもの村は令和4年度に開園50周年を迎えることから、必要な施設のリニューアルを行い、「霊山こどもの村」や「名峰霊山」などの霊山高原地域の魅力を発信し、交流人口の拡大や新たな利用者の増加を図ります。

【主な取り組み】

- ゲート看板の更新
- 開放型休憩施設の新設
- 大型遊具の改修およびジャンボ滑り台の研ぎ出し
- ミュージアム前広場の改修など

財源 (万円)	市の負担
	2億5,000

新 商店街活性化事業

担当課 商工観光課 **1,705万円**

商店街の振興や賑わい創出に向けて、空き店舗を活用した新規出店や既存店舗の改修・商品開発などを支援し、まちなかの賑わい創出を図ります。

【主な取り組み】

- 空き店舗を活用した新規出店に対し、家賃と改修費を補助
- 既存店舗が売上増加や集客力向上のための改修を行う場合に費用の一部を補助
- 売上増加や集客力向上のための新商品開発や既存商品のリニューアル費用の一部を補助
- 商店街の活性化のためイベント費用の一部を補助



施設改修前



施設修繕後①



施設修繕後②

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	1,453	252

新 観光でにぎわう魅力づくり事業

担当課 商工観光課 **2,672万円**

首都圏や友好交流都市等での観光誘客・特産品プロモーションを実施し、本市への来訪者や関心を持つ人を増やします。さらに、市内での回遊性の促進につながる新しい事業に取り組みます。

【主な取り組み】

- 観光案内所および観光Webサイトの運営、姉妹都市・交流都市との物産交流など
- 霊山新緑・紅葉まつり、霊山フォトコンテストの開催
- 首都圏での物産展、企業マルシェでの市特産品PR
- サイクルツーリズムの拠点整備、モデルコース設定、レンタサイクル実証実験
- 伊達市ぐるっとパスポート (観光周遊手帳) 事業

財源 (万円)	市の負担
	2,672

子育て・教育のまち



新規 親子で楽しむ読み聞かせ事業

担当課 こども未来課 **131万円**

親子で絵本の読み聞かせをすることで、親子のコミュニケーションの増加や、子どもの想像力・表現力の向上、豊かな感情の醸成を図ります。

【主な取り組み】

- 1歳～3歳になる子どもに「パーソナル知育絵本」の製作

財源 (万円)	市の負担
	131

新 子どもの未来応援ネットワーク事業

担当課 ネウボラ推進課 **257万円**

子どもの貧困問題の課題解決のため、子どもの居場所づくりに資する活動を行う団体などへ補助金を交付します。また、学習環境が不十分な子どもに対して、拠点型教室を主軸としながら、学習支援を実施します。

令和3年度からあおぞら事業として、不登校児童、引きこもり児童に対する支援を行う団体などに対し、事業スタートに要する経費の一部を補助します。

【主な取り組み】

- こどもの貧困問題について、関係機関と協議する場として、子ども支援ネットワーク会議の開催
- フードバンクを活用したこども相談支援体制の構築
- こども食堂などこどもの居場所を立ち上げる新規事業者に、立ち上げ時の際の補助と既存の事業者に対し、こどもの誘客に対する企画に対する補助
- こどもの居場所としての学習支援事業の拠点型の実施
- ひきこもり、不登校児のための居場所づくりの一環として、あおぞら事業の実施

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	169	88

継続 放課後児童クラブ建設事業

担当課 こども未来課 **2億7,452万円**

伊達小学校アリーナ棟と合築で放課後児童クラブを改築し、利用児童が安全に過ごせる環境を提供します。

【主な取り組み】

- だて放課後児童クラブ館の改築
- 伊達児童館の解体設計

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	1億8,742	8,710

継続 伊達市版ネウボラ事業

担当課 ネウボラ推進課 **2,886万円**

すべての妊産婦と乳幼児を対象に、子どもが健やかに成長するように妊娠期から切れ目なく支援する体制を整備することで、安心して出産・育児ができる地域を目指します。

【主な取り組み】

- 妊娠届出時より担当のネウボラ保健師などが子育ての相談を受付
- 妊娠中に育児パッケージ贈呈
- 子育て世代包括支援センター「にこにこ」にてお母さんのホッとできる場を提供



あそびのたねの様子

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	1,382	1,504

継続 保原認定こども園整備事業

担当課 こども未来課 **6億2,486万円**

保原地域に幼稚園・保育園を一体化した認定こども園を整備し、就学前保育教育を行う環境を整備します。

【主な取り組み】

- 土地購入および造成工事の実施
- 園舎建築工事補助事業の実施



保原認定こども園イメージ図

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	2億6,001	3億6,485

伊達市版ニューボラ事業、認定こども園・放課後児童クラブ整備などによる子育て支援の充実、小中学校の改築・施設整備、ICTを活用した学習活動の支援などによる教育環境の充実を図ります。

継続 教育用コンピュータ整備事業

担当課 学校教育課 **1億6,520万円**

児童生徒に一人一台のタブレット端末を配備するGIGAスクール構想を最大限に活かす教育を展開し、児童生徒にICTを活用した授業及び情報教育を推進します。

統合型校務支援ソフトの運用により各学校の業務の効率化を支援します。

【主な取り組み】

【新規】

- 児童生徒への一人一台タブレット端末の配備により、対面授業とタブレット端末を併用した授業を推進
- コロナ禍などによる学校の臨時休業時にオンライン学習を実施し、児童生徒の学びを保障
- Wi-Fiルーターを貸し出し、家庭でのインターネット環境整備を支援

【継続】

- 児童生徒の個人情報保護のための校務用ICT機器整備管理
- 統合型校務支援ソフトの運用管理により、教職員の働き方改革を促進し児童生徒と向き合う時間を確保
- 教育用コンピュータ機器による情報化社会に対応した授業・学校運営

財源 (万円)	市の負担	その他 (通信料保護者負担分)
	1億6,116	404

継続 伊達小学校改築事業

担当課 教育総務課 **13億8,296万円**

老朽化した校舎および屋内運動場などの教育環境を改善するため、伊達小学校の改築工事を実施します。

【主な取り組み】

- アリーナ棟建築工事
- プール附属棟移設工事
- アリーナ棟屋外整備工事
- 旧校舎・屋体解体工事
- 仮設校舎賃貸など



伊達小学校完成予想図

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	13億5,206	3,090

一新 ICT活用による学習活動充実推進支援事業

担当課 学校教育課 **5,862万円**

児童生徒に一人一台のタブレット端末を配備するGIGAスクール構想の実施ため、市内全小・中学校においてICT活用による学習活動を推進します。

伊達市の小中一貫教育をリードする月舘学園の特色ある教育を推進します。

【主な取り組み】

- 全小学校5年生に対してロボットを活用したプログラミング教育を実施 (月舘学園では小学校4~6年生、中学校3年生も実施)
- ICT教育を推進するため、ICT支援員5人を市内小・中学校に配置
- 月舘学園の小中一貫教育の充実を図り、英語教育、ICT教育、ふるさと学習を推進



プログラミング教育の様子

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担	その他 (福島県産ロボット導入支援助成金)
	4,807	857	198

継続 通学合宿体験活動事業

担当課 生涯学習課 **778万円**

市内の小学5年生を対象として合宿所から学校に登下校する体験活動事業を実施します。

合宿所での共同生活により、生活を送るうえで必要な力(炊事、洗濯、清掃等)を子どもたち自らが体験し、生活技能を体得するとともに、お互いの立場や役割を理解し、社会性の向上を目的とします。

【主な取り組み】

- 市内の全小学5年生対象
- 「生きる力」を身に付け、社会に貢献する自立した人間を育成することを目的し、通学合宿の開催
- ボランティアを交えながら一連の合宿体験を行うことにより、地元へ愛着を持ち魅力を発信できる人材の育成
- 子どもたち自身の社会的・職業的な自立を考えるきっかけづくり



簡易宿泊施設とまっぺ

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担	その他 (参加者負担金)
	439	299	40

健幸・福祉のまち



新規 SWC 整備事業(白根地区健幸拠点整備事業)

担当課 健幸都市づくり課 **1億6,024万円**

健幸都市モデル白根地区において、継続的な地域コミュニティの維持に向け、健康寿命の延伸と高齢になっても生き生きと暮らせる社会環境を形成するため「運動」「健康」「交流」の機能を取り入れた健幸都市の拠点を整備します。

【主な取り組み】

- 旧白根小学校校舎の改修工事



旧白根小学校

財源 (万円)	市の負担
	1億6,024

新規 働き盛り世代の予防重視型健康づくり事業

担当課 健幸都市づくり課 **1,690万円**

健康寿命の延伸を図るため、働き盛り世代が健康運動事業などに参加しやすい環境や仕組みづくりを行います。

【主な取り組み】

- 健幸クラブFineの拡充（夜間や土曜日開催、親子で楽しめる教室開催など）
- 健幸講演会の開催



健幸クラブ Fine の様子

財源 (万円)	市の負担	その他(参加料)
	1,589	101

新規 伊達市保健センター改修・増築事業

担当課 健康推進課 **2,385万円**

保原保健センター、子育て世代包括支援センターの長寿寿命化を図るとともに、市民が不便なく当施設を利用できるよう整備し、子育て支援機能を集約して、事業を効率的に実施するため改修・増築を行います。

【主な取り組み】

- 伊達市保健センター改修・増築工事実施設計



保健センター・子育て世代包括支援センター

財源 (万円)	市の負担
	2,385

一新 地域医療確保対策事業

担当課 健康推進課 **1億678万円**

救急医療などの不採算医療における機能維持が困難となっていることから当該医療を担う病院に対し、地域医療体制の強化および充実を図るため、運営費の一部を助成します。

また、高齢化に伴い増加傾向にある複数疾患を持つ患者を総合的に診る医療機関が必要なことから寄附講座を設置します。

【主な取り組み】

- 不採算地区公的病院等への補助金交付
- 寄附講座設置のための福島県立医科大学への寄附



地域医療体制の強化

財源 (万円)	市の負担
	1億678

市民一人ひとりが高齢になっても元気に生活することができるように、健幸拠点施設の整備、運動習慣化や予防重視型健康づくりの支援、地域医療の確保対策などの健幸都市施策を推進します。

新 障がい福祉サービス事業(障がい者福祉施設整備事業)

担当課 社会福祉課 **858万円**

地域資源としての障がい福祉サービス基盤整備の促進を図り、障がい者の地域移行を促進します。

【主な取り組み】

- 旧富成小学校を活用し障がい児福祉施設の環境整備を行う団体へ改修に必要な経費の一部を補助

財源 (万円)	市の負担
	858

継続 保原総合公園拡張整備事業

担当課 都市整備課 **1億8,341万円**

保原総合公園の広域的な利用と市民のさらなる健康増進、青少年の健全育成や福祉の向上に資するため、総合的なスポーツ・レクリエーション拠点としての公園の拡大および公園機能の拡充を推進します。

【主な取り組み】

- 多目的グラウンドの整備
- 備品購入



保原総合公園完成予想図

財源 (万円)	市の負担
	1億8,341

継続 健康運動習慣化支援事業

担当課 健幸都市づくり課 **2,721万円**

高齢者が健康で幸せな生活を送るため、通い慣れた身近な集会所などで元気づくり会として運動を介して住民自ら継続できるように支援し、元気な人づくりと共助社会の構築を進めます。

また、健康運動指導士などによる効果的な筋力トレーニングができる健幸クラブFineやウォーキングの推進など健康づくりのための運動を幅広く提供します。

【主な取り組み】

- 元気づくり会の普及推進
 - ①集会所コース(新規会場)・・・元気づくり体験を週2回6カ月間、コーディネーターと一緒に楽しむプログラム
 - ②元気リーダーコース・・・7カ月以降、参加者を中心に元気づくり会を継続して楽しむプログラム
- 健幸クラブFine事業
 - ①Aタイプ・・・低体力者・要支援高齢者の筋力アップ
 - ②Bタイプ・・・18歳以上の筋力アップ
 - ③伊達スペシャル・・・ヨガやダンス、ニュースポーツなどが体験できる特別メニュー
 - ④いきいきウォーキング・・・正しい歩き方が学べる教室



元気づくり会の様子

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	1,621	1,100

継続 健幸都市推進事業

担当課 健幸都市づくり課 **1,081万円**

少子高齢社会、人口減社会が進む中、市民が健康で幸せな生活を送るため「健康」を基軸にしたまちづくりを目指し、健幸都市の実現に向け推進します。

【主な取り組み】

- 歩きたくなるまちづくり事業
 - 健幸意識の醸成のための普及啓発、ウォークマップの発行等
- だてな健幸ポイント事業
 - 運動を行うきっかけや動機づけになるよう、日々の歩行や健康づくりに対し、ポイントを付与。気軽に楽しく継続できる内容で実施



健幸ポイント事業

財源 (万円)	市の負担
	1,081

移住・定住の促進



新 生き生き集落づくり事業

担当課 協働まちづくり課 **2,362万円**

中山間地域における急速な人口減少の加速化や高齢化の進展に伴い、地域が担ってきた活動、機能の維持が困難となっている中で、外部からの人材を誘致し、その視点に基づく活動などを通じて、持続可能な地域づくりを目指します。

【主な取り組み】

- 地域おこし支援員の募集、採用、活動に関する事務
- 「伊達市ならではの」地域課題の解決に取り組む「ミッション型地域おこし支援員」の募集（新規）



R2 地域おこし支援員辞令交付式

財源（万円）	市の負担 2,362
--------	---------------

継続 移住・定住促進事業

担当課 協働まちづくり課 **2,645万円**

定住・交流人口の増加による地域活性化を図るため、首都圏などの子育て世帯や保育士を目指す学生などをターゲットとした移住施策を推進します。また、移住定住を推進するための空き家バンクを運営します。

【主な取り組み】

- 移住コンシェルジュによる総合相談窓口の設置
- 首都圏などでの移住セミナーの開催
- 伊達市を知ってもらうためのPR事業や移住体験ツアーなど
- その他、移住のための各種支援



コロナ禍での移住オンラインセミナー

財源（万円）	市の負担 1,830	国・県の負担 815
--------	---------------	---------------

継続 保育職就労支援推進事業

担当課 こども未来課 **2,624万円**

- ①保育士不足に対応するため市内私立園に就労した保育士などに対し一時金を支給し、保育士確保に向けた取り組みを実施します。
- ②保育士などの業務軽減を図るため、補助職員を新たに雇用した施設に対しその経費を補助します。

【主な取り組み】

- ①就業準備金給付事業
市内私立園に新規就労した保育士などに対し一時金の支給
- ②保育補助職員雇用促進事業
保育士などの業務軽減のため補助職員を雇用した施設への補助



保育士の就職相談会

財源（万円）	市の負担 643	国・県の負担 1,981
--------	-------------	-----------------

継続 シティプロモーション推進事業

担当課 秘書広報課 **790万円**

将来的にともに地域を支え、継続し発展させていく「担い手」の増加を推進します。

市民や伊達市に関心のある人が、本市の魅力やブランドメッセージを効果的に訴求し、発信していくシティプロモーション活動への参加を通じて、市全体のイメージアップと地域参加意欲の拡大に向けた伊達市応援サークルの構築を目指します。

【主な取り組み】

- 地域おこし企業人の派遣負担金、企画事業
- 伊達市応援サークルの構築
市民による市の魅力発信活動の支援、伊達市のファンを作るための活動
- 伊達なふるさと大使、伊達な宣伝部長への情報発信支援



2代目伊達な宣伝部長

財源（万円）	市の負担 736	国・県の負担 54
--------	-------------	--------------

ミッション型地域おこし支援員、移住相談コンシェルジュの配置、シティプロモーションの推進などにより、若い世代の移住・定住を促進していきます。

継続 ふるさと交流プロジェクト事業

担当課 協働まちづくり課 **682万円**

大都市圏在住の学生・社会人が講師となり、子どもたちへの勉強のアドバイスや、地域の方々との触れ合いにより関係人口の増加を図ります。

【主な取り組み】

- (大学1、2年生) 寺子屋教室、田舎体験を通じた交流
- (大学3、4年生) 認定こども園、障がい福祉施設、地域自治組織などでの専門的な活動を通じた交流
- (社会人) 自分の仕事や特技を生かした講座の開催や活動



大学生と地域住民の交流活動

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	228	454

継続 空き家対策事業

担当課 協働まちづくり課 **150万円**

適切に管理されていない空き家による環境衛生、防犯、防災などの問題が発生しているため、伊達市空家等対策計画に基づき空き家の発生予防や利活用促進などを推進します。

【主な取り組み】

- 伊達市空家等対策協議会の開催
- 空き家に関する実態調査



空き家の管理サポート等に関する協定締結

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	92	58

継続 伊達の生涯活躍のまち加速化事業

担当課 協働まちづくり課 **493万円**

首都圏など在住のアクティブシニアや多世代、学生などの若者を呼び込みながら、地域で不足する担い手を確保し、市民も含めみんなが役割をもつことで生涯に渡り活躍でき、健康で活動的な生活ができる「全世代・全員活躍のまち」を目指します。

【主な取り組み】

- 事業者と具体的な事業内容の協議 (事業者による施設整備)
- 首都圏に相談窓口を設置
- 官民連携まちづくり推進協議会への参画



生涯活躍のまち予定図

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	267	226

継続 伊達田園回帰支援事業

担当課 農政課 **80万円**

就農希望者へ農業研修や体験などの機会を設け、新規就農者の確保につなげます。

【主な取り組み】

- 一週間程度の本格的な就農体験コース
- 日帰り・1泊2日のライトな就農体験コース



桃の収穫作業体験

財源 (万円)	市の負担	国・県の負担
	40	40

防災・減災事業・感染症対策の推進



新 災害(防災)対策事業

担当課 防災危機管理課 **5,489万円**

国、県の動向に対応した災害対策を講じるため、災害備蓄品などを計画的に備蓄し緊急時に備えます。

防災行政無線などの緊急時情報伝達手段を確実に履行していくため、維持管理に努めます。

【主な取り組み】

- 災害時の災害対策本部および避難所の運営経費
- 災害時備蓄品・消耗品の購入
- 防災行政無線（移動系・同報系）の維持管理
- 防災マップ改定業務委託
- 国、県の情報通信システムの運用経費



防災マップ

財源(万円)	市の負担	国・県の負担
	4,794	695

新 たんすい 湛水防除施設維持管理事務

担当課 農林整備課 **1,811万円**

防災減災を目的に台風、豪雨による農地の湛水被害を防止、軽減および洪水災害対策のため、湛水防除施設梁川第2排水機場（赤沼樋門を含む）、五十沢排水機場における施設維持管理（点検、修繕等）および台風、豪雨時における排水ポンプの運転を行います。

また、大枝排水機場の施設維持管理費における負担をします。（伊達市負担割合40.5%）

【主な取り組み】

- 梁川第2排水機場の湛水による電源喪失対策として止水板設置工事の施工
- 湛水防除施設の維持管理（点検、修繕など）
- 台風、豪雨時の排水ポンプの運転
- 導水路および仮排水路の維持管理（堆積土砂撤去、除草など）



五十沢排水機場

財源(万円)	市の負担
	1,811

新 工業団地浸水対策事業(商工観光課)

担当課 商工観光課 **342万円**

工業団地内企業の安定操業を図るため、急激な豪雨などの災害による被害を最小限とするため、立地企業と連携して浸水対策を実施します。

【主な取り組み】

- やながわ工業団地内の市が管理する水路に内水排除用の排水ポンプ設置



やながわ工業団地

財源(万円)	市の負担
	342

継続 農林業施設災害復旧事業

担当課 農林整備課 **4億4,240万円**

令和元年10月の台風19号により被災した梁川町山舟生蜂沢地区の農業施設（水路、道路）について農業施設公共災害復旧事業により、農業施設災害復旧工事を施工します。

【主な取り組み】

- 蜂沢地区水路（1件）災害復旧工事の施工
- 蜂沢地区道路（2件）災害復旧工事の施工

財源(万円)	市の負担	国・県の負担
	7,961	3億6,279

線越 防災情報伝達システム導入事業

担当課 防災危機管理課 **1,785万円**

現在、同報系防災行政無線の屋外スピーカーや戸別受信機で行っている災害時の情報伝達を、直接、個人のスマートフォンに送信するアプリを導入し、避難などの情報を迅速かつ的確に市民にお知らせします。

【主な取り組み】

- 防災情報伝達システム導入業務
- 防災情報伝達システム導入監理業務

財源(万円)	国・県の負担
	1,785

防災マップの改定、工業団地・湛水防除施設の浸水対策、農林業施設の災害復旧など、早期の施設復旧と防災対策を実施し、再度の被災を防止します。

また、新型コロナウイルス感染症対策として発熱外来の設置を継続するとともに、市民への円滑なワクチン接種、事業者支援などに取り組みます。

緑越 災害(防災)対策事業(排水ポンプ車購入)

担当課 防災危機管理課

2億686万円

台風などによる大雨により浸水被害が発生した場合または発生が予想される場合に、減災、被害防止のため、速やかに排水活動を行うため排水ポンプ車を購入します。

【主な取り組み】

- 排水ポンプ車(30m³/min)2台 購入
- 排水ポンプ車装備品購入(排水吐口金具 外)
- 排水ポンプ車格納車庫建設工事



排水ポンプ車

財源(万円)	市の負担
	2億686

継続 感染症予防事業(新型コロナウイルス感染症予防)(発熱外来設置事業)

担当課 新型コロナウイルス対策課

5,418万円

発熱外来を設置し、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するとともに、治療を必要とする住民に対して、安心して医療機関を受診できる環境を整備します。

【主な取り組み】

- 発熱外来の設置運営



発熱外来

財源(万円)	国・県の負担
	5,418

緑越 新型コロナウイルスワクチン接種事業

担当課 新型コロナウイルス対策課

3億32万円

国から供給される新型コロナウイルス感染症のワクチンを市民に円滑に接種することで、新型コロナウイルスの感染を抑制し、市民の安心安全な生活を確保します。

【主な取り組み】

- 新型コロナウイルスワクチン接種
- 接種順
 - ①高齢者
 - ②基礎疾患を有する市民・高齢者施設などの従事者
 - ③16歳以上65歳未満の市民



予防接種イメージ

財源(万円)	国・県の負担
	3億32

緑越 事業継続奨励金給付事業

担当課 商工観光課

7,370万円

新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により売上が減少した市内の中小事業者を対象に市独自の奨励金を給付し、事業者の支援をします。

【主な取り組み】

- 前年同月の売上と比較して、20%以上減少している事業者に対して、事業継続奨励金の支給



事業継続を支援

財源(万円)	国・県の負担
	7,370

その他の主要事業

新規 道路新設改良事業（都市整備課）

担当課 都市整備課 **1億1,780万円**

本路線北側で令和3年度より伊達市新工業団地の造成工事に着手、令和5年度から立地が予定されており、工業団地関連道路、ならびに伊達中央ICからのアクセス道路として、市道西郡山柳田線を整備します。

【主な取り組み】

- 用地買収
- 物件移転補償
- 所有権移転登記など
- 工事（土工、排水工）

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	9,378	2,402

一新 石戸地区交流館改修事業

担当課 霊山総合支所 **8,476万円**

伊達市広域的減容化施設影響緩和基金を活用し、地域活性化（特産品・6次化開発、伝統文化の継承、各種交流事業）と食に係る福祉事業（食育・高齢者・児童）推進のため、地域活動の拠点となる石戸地区交流館の改修を行います。

この基金は、広域的減容化施設（石田地区仮設焼却炉）立地に伴う影響緩和のため、風評対策や地域振興を目的に設定されています。

【主な取り組み】

- 多目的調理室・農産加工実習室・食事・交流スペースの設置
- バリアフリー機能の強化（車両アプローチ部分の拡張、トイレの洋式化、授乳室の設置など）
- 施設の基本性能の強化および充実（陸屋根部分の防水機能強化、照明器具のLED化）

財源（万円）	市の負担
	8,476

一新 総合計画策定・推進事業

担当課 総合政策課 **1,081万円**

本市の目指すべき将来像を描き、それを実現していくための総合的かつ計画的なまちづくりの指針となる次期総合計画を策定します。

【主な取り組み】

- 第2次総合計画の評価・検証
- 市民ワークショップの開催
- 市民アンケート
- 総合計画審議会の開催など

財源（万円）	市の負担
	1,081

継続 地域生活支援事業

担当課 社会福祉課 **9,920万円**

障がい者などの福祉の増進を図るとともに、障がいの有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指し、障がい者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるように各種障がい福祉サービスを提供します。

【主な取り組み】

- 状況に応じた障がい福祉サービスの提供（相談支援事業、日常生活用具給付等事業、意思疎通支援事業（手話通訳者派遣等）手話奉仕員養成研修事業、移動支援事業、訪問入浴サービス事業、日中一時支援事業）
- 自力通学が困難な県立大笹生支援学校高等部の生徒に対する通学支援



手話の動画を配信中

財源（万円）	市の負担	国・県の負担	その他
	6,593	3,208	119

一新 公共施設配置適正化推進事業

担当課 管財課 **5,046万円**

人口減少社会における市民ニーズの変化や将来発生する公共施設の更新費用などの課題へ対応するため、公共施設の集約化、多機能化、複合化、除却などを検討し、公共施設の配置適正化を図ります。

【主な取り組み】

- 審議会の開催
- 除却施設の実施設設計、除却工事
- 公共建築物劣化状況調査
- 再配置の方針が決定した施設の改修設計



伊達市役所保原本庁舎

財源（万円）	市の負担	その他（土地売払収入、補償金）
	4,635	411

拡充 道路新設改良事業

担当課 土木課

2億4,066万円

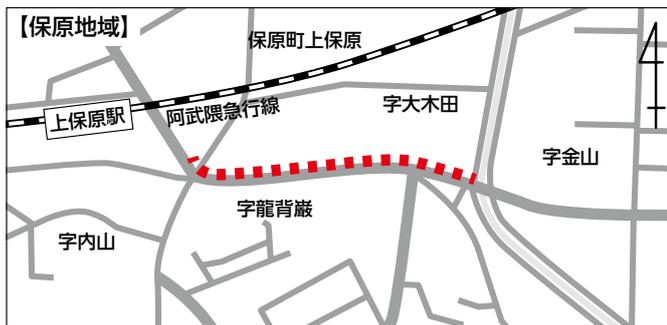
伊達市内の道路整備により道路ネットワークの充実を図ります。

【主な取り組み】

道路：3路線

- 市道田向流町3号線（歩道設置測量設計業務委託）
- 市道大柳石橋線（用地買収・物件移転補償・道路改良工事）
- 市道大柳高子線（阿武隈急行負担金）

財源（万円）	市の負担	国・県の負担
	1億7,540	6,526



場所	目的	概要
上保原字下当築地内	測量設計	測量設計 長さ=270メートル (田向流町3号線)



場所	目的	概要
大柳字大鳥地内外	用地買収 物件補償 道路改良工事	工事 長さ=600メートル (大柳石橋線)



場所	目的	概要
上保原字西向地内	跨道橋拡幅	負担金 (大柳高子線)

継続 伊達地域まちづくり活性化事業

担当課 伊達総合支所

1億4,900万円

伊達地域の商店街一帯の賑わいと併せ、「子育て世代が集い、地域でゆったり暮らせるまち」、「高齢者が集い、安心して歩いて暮らせるまち」をコンセプトに、地域住民が主体となった新たなまちづくりに取り組みます。

【主な取り組み】

- （仮称）ママノマの建設
子どもから高齢者まで多世代で交流ができ、子育てママが働くことができる場の拠点として、（仮称）ママノマを建設し、伊達地域の活性化を図り、賑わい創出



ママノマイメージ

財源（万円）	市の負担
	1億4,900

継続 Tokyo2020 “伊達な KIZUNA” 事業

担当課 総合政策課

1,534万円

復興五輪である2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせ本市の魅力を広くアピールし、本市の更なる振興を図ります。

【主な取り組み】

- 復興ありがとうホストタウン
ガイアナのオリンピック関係者を招き、文化、芸術、食を通じた交流を行います。
- オリンピック観戦イベント
市民にオリンピックを観戦する機会を提供します。
- パブリックビューイング
市民を挙げてガイアナやゆかりの選手を応援するイベントを開催します。
- 日本人オリンピックの招致
日本人オリンピックを招致し未来のオリンピック選手を輩出するための機運を醸成します。
- ニット製品販路拡大
外国人を対象に大会後も継続した取引を行えるようPRを行います。
- 都市装飾
公共施設などにオリンピックPRツールを装飾し機運を醸成します。
- 観光拠点回遊
市内の観光拠点を巡るコースを設定して大会後の交流外国人の増加を図ります。
- 観光（多言語）パンフレットの作成
多言語パンフレットを作成し交流外国人の増加を図ります。



ガイアナとの交流

財源（万円）	市の負担	国・県の負担	その他（雑入）
	917	595	22

その他の主要事業



さわやか現道整備事業

担当課 土木課

2億円

生活に密着した道路の整備を促進し、安全・安心な街づくりおよび良好な住環境の形成を目指します。

【主な取り組み】

- ①伊達地域 3箇所 ③保原地域 2箇所 ⑤月舘地域 2箇所
- ②梁川地域 8箇所 ④霊山地域 3箇所

※標記の延長は、目安ですので現地精査の結果により増減します。

財源 (円)	市の負担
	2億

【伊達地域】

場所	目的	概要
馬場口地内	現道舗装	工事 長さ = 60メートル (馬場口2号線)

【伊達地域】

場所	目的	概要
箱崎字聖天森地内	水路整備	工事 長さ = 160メートル (福厳寺線)

【伊達地域】

場所	目的	概要
根田地内	現道舗装	工事 長さ = 40メートル (根田2号線)

【梁川地域】

場所	目的	概要
菫蒲沢地内	現道舗装	工事 長さ = 370メートル (菫蒲沢里見山2号線)

【梁川地域】

場所	目的	概要
二野袋字本丁地内	現道舗装	工事 長さ = 110メートル (志津杉内線)

【梁川地域】

場所	目的	概要
細谷字宮下地内	現道舗装	工事 長さ = 220メートル (宮下山屋敷線)

【梁川地域】

場所	目的	概要
白根字木ノ田地内	水路整備	工事 長さ = 180メートル (木ノ田十字字線)

【梁川地域】

場所	目的	概要
山舟生字高平地内	現道舗装	工事 長さ = 590メートル (高平1号線)



場所	目的	概要
舟生字神ノ山地区内	現道舗装	工事 長さ = 370メートル (神ノ山新田山線)



場所	目的	概要
東大枝字新田東地区内	現道舗装	工事 長さ = 340メートル (新田新田前線)



場所	目的	概要
五十沢字堀ノ町地区内	現道舗装	工事 長さ = 470メートル (堀ノ町古川1号線)



場所	目的	概要
上保原字採芝崖地区内	現道舗装	工事 長さ = 160メートル (採芝崖内山線)



場所	目的	概要
富沢字四城地区内	現道舗装	工事 長さ = 320メートル (四城1号線)



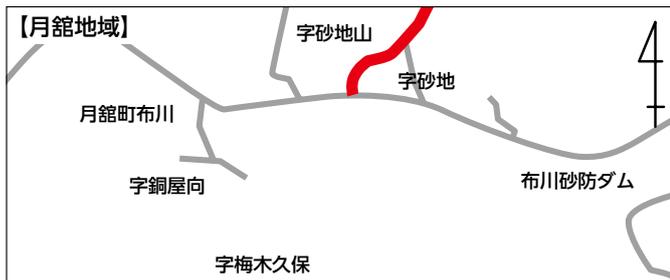
場所	目的	概要
掛田字千尋地区内	水路整備	工事 長さ = 70メートル (金原田掛田線)



場所	目的	概要
山野川字上在家地区内	水路整備	工事 長さ = 95メートル



場所	目的	概要
下小国字宮地区内	現道舗装	工事 長さ = 100メートル (鍛冶屋2号線)



場所	目的	概要
布川字砂地山地区内	水路整備	工事 長さ = 95メートル (砂地1号線)



場所	目的	概要
下手渡字樋ノ口地区内	水路整備	工事 長さ = 120メートル (岩崎線)

伊達市歌

作詞：和合亮一

作曲：伊藤康英

みらいへ	伊達の	ともに道あり	あしあと	あしあと	セキレイの翼(はね)	かがやく峰に	緑のかなた	風のふるさと	はるか青空	虹とささやき	めぐる野原で	くものうたごえ	1. ひかりのはだし
あしたへ	伊達の	ともよ道あり	あしあと	あしあと	セキレイ光り	ほほよせる季節(とき)	緑の木の実	桃のふるさと	はるか夕焼け	あかまつたずね	空のふもとに	のみち あぜみち	2. 星ふるすあし
		あしたへ	みらいへ	はるか伊達路へ	道行く道へ	はるか伊達路へ	ふるさと	一つの	たった一つ	川も 山も	風も 町も	谷も 鳥も	3. 空も 雲も

市の花木鳥



花「もも」



木「あかまつ」



鳥「せきれい」

* 発行 *

伊達市役所 総務部 秘書広報課

〒960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋180番地
電話 024-575-1113 FAX 024-575-2570
Eメール press@city.fukushima-date.lg.jp